

ワカサギ漁期前調査が終了

霞ヶ浦北浦の今年のワカサギの漁獲量を占なう漁期前調査が行われました。

北浦では七月四日に、また霞ヶ浦では七月十一日にそれぞれ行われました。

北浦での調査地点は、漁場が今年から南に広がったのを受けて、水原前の調査地点が例年より南に移動したほかは白浜前および江川前とも例年どうりの地点で行いました。

各地点とも二十分間の下曳を行ないました。北浦での漁獲結果は下曳では各地点とも平均しており

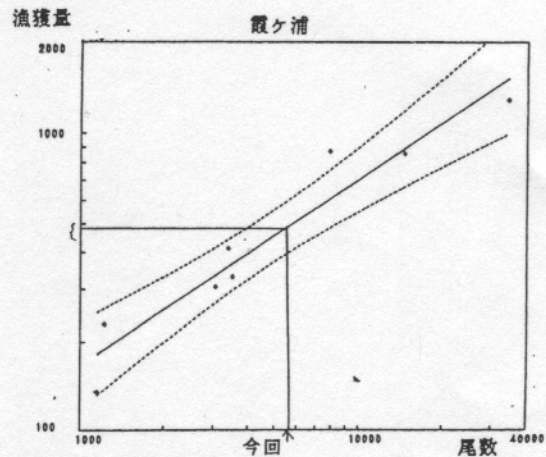
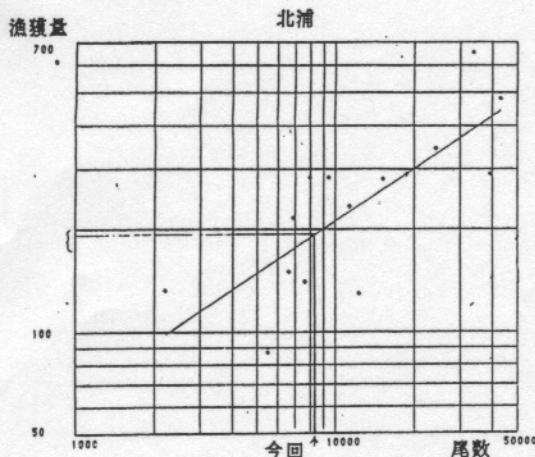
最大が白浜前の21.6kg、最小が江川前の17.2kgで平均は19.1kgでした。また魚体も平均2.3kgでした。

この数字は昨年の平均漁獲量16.4kgより多めであり、また平均体重2.5kgよりも小型でした。昔からワカサギが小さいときは漁獲量が多いといいますがその意味でも今年

は昨年よりは多そうです。また、白浜で行った浮かし曳ではワカサギは5尾のみでしたがシラウオが5.2kgも入りました。霞ヶ浦では例年通り湖心、牛渡及び高浜入りの3地点で下曳20分の操業を行いました。湖心ではあわせて浮かし曳きも例年通り行いました。その結果最高が14.5kg、最低が2.8kgと北浦よりも地点によるばらつきがみられました。しかし

昨年の最大が22kg、最低が1.3kgよりは平均に分布していると言つて良いでしょう。また魚体の平均も3.0kgと北浦と同様、昨年の3.3kgよりも小振りでした。

さて今年の漁獲量の予想ですが過去の漁期前調査での平均漁獲尾数とその年の漁獲量の間に次の図のような関係があることが解つております。今年の漁期前調査の結果漁獲されたワカサギの数は北浦が8220尾、霞ヶ浦が5550尾でした。今年の平均漁獲尾数をこの図の中に当てはめると北浦では150トン〜200トンが、また霞ヶ浦では450トン〜500トンの漁獲が見込まれます。



漁期前調査時の平均漁獲尾数とその年の漁獲量の関係